

公益社団法人日本セラミックス協会
2021 年度事業計画

2021 年 4 月 1 日より
2022 年 3 月 31 日まで

昨年来のコロナ禍の影響で形成されつつある「ニューノーマル」への対応を模索しながら、昨年度にスタートした「2020～2022 年度中期経営計画」で戦略課題としている「社会への価値提供」、「協会活動の活性化」、「協会の組織力強化」を目指した活動を進めていきます。

「社会への価値提供」としては、特に、産官学連携活動の強化推進と国際交流事業の推進に注力していきます。産官学連携活動は、春の年会での産学連携共創セッション、秋のシンポジウムでの産学連携技術マッチングセッションを継続すると共に、セラミックス誌やホームページでの産官学連携活動のプラットフォームを提供していきます。国際交流活動では、2022 年 3 月に、エンジニアリングセラミックス部会主催で焼結国際会議

(Sintering 2022) の実施を予定しており、また、国際セラミックス会議 (ICC) の招致活動も引き続き積極的に進めていきます。更に、韓国と共同発刊している論文誌 Journal of Asian Ceramic Societies は、認知度が高まってきており、一層の内容の充実と発信力の強化を目指していきます。

「協会活動の活性化」としては、協会活動の柱である年会・秋季シンポジウムについて、オンライン形式の積極活用など新時代への適応を試行しながら、一層の活性化・魅力度向上に努めていきます。現時点では現地開催の可否が不透明ではありますが、9 月に山梨大学での秋季シンポジウムと 2022 年 3 月に東京理科大学での年会の開催を計画しており、そこで、近年注目を浴びている SDG s をテーマとしたセッションや海外の研究者を招いた国際セッションなどを取り入れていく予定です。

「協会の組織力強化」では、継続的課題である会員増強施策の一つとしての「協会創立 130 周年個人会員キャンペーン」とセラミックス大学の参加者に対する「入会促進キャンペーン」を続けていきます。会員サービスの改善検討や会員制度のありかたについても継続的に検討していきます。また、社会的課題でもある男女共同参画活動は、引き続き、研究発表会の中での講演会や会話会を開催すると共に、支部や部会と協力して、女性会員の活躍機会を広げていくよう努めていきます。

財務に関しては、公益法人財務 3 基準を満たすよう留意しながらも、財務体質がぜい弱にならないように留意しながら、効率的な事業運営に努めていきます。また、今年度は、協会創立 130 周年に当たりますので、記念事業としての各種の記念表彰も行います。

定常的な事業活動としては、本部主催では、以下に示すような活動を行う予定で、また、支部・部会主催では、別紙に示すような活動を行っていく予定です。

主な事業計画

行事 (公1)	<ul style="list-style-type: none"> ・第34回秋季シンポジウム (2021年9月1日～3日 山梨大学 (甲府キャンパス)) ・2022年年会 (2022年3月26日～28 東京理科大学 (葛飾キャンパス))
出版 (公2)	<ul style="list-style-type: none"> ・Journal of the Ceramic Society of Japan 毎月発行12回/年。特集号4回予定。 ・セラミックス誌 毎月発行合計12冊。 印刷部数毎号 冊子版2000部、Web版4000部、総頁1000頁。特集記事、その他連載
研修・ 講習会 (公3)	<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックス大学2021 計7回講義
教育・啓発 セミナー (公4)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校課題研究フォーラム (2021年8月) ・高等学校生徒セラミック作品展 (2022年3月年会) ・教育セッション (2022年3月年会) ・教材用セラミックス関連サンプル (見本) の整備と貸出 ・理工系人材育成活動助成金公募の実施 ・男女共同参画企画「セラミックスカフェ」(2021年9月秋季シンポジウム) ・男女共同参画企画「女子学生、女性技術者・研究者交流会 (女子会)」(2022年3月年会)
標準化 (公5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化特別企画 (第34回秋季シンポジウム) ・第19回セラミックス関係分析技術者研究発表会
国際交流 (公6)	<ul style="list-style-type: none"> ・Journal of Asian Ceramic Societies (JAsCerS) (年間4回発行) ・焼結国際会議 (Sintering 2021) (2022年3月27日～31日 於 長良川コンベンションセンター) ・国際セラミックス会議 (ICC11) の誘致活動
広報 (公4・他 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・協会ホームページの刷新およびセラミックス材料の啓発を推進するショートムービー作成・掲載 (公4) ・協会ウェブコンテンツ拡充および協会活動PR (公4・他2)
表彰 (他1)	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回日本セラミックス大賞 ・第2回日本セラミックス協会功績大賞 ・第76回 (2021年度) 功労賞、学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞 ・第55回 (2021年度) セラミックス貢献賞 (表彰式2021年10月8日) ・第16回 (2021年度) 協会活動有功賞 ・2021JCS-JAPAN 優秀論文賞・優秀総説賞 ・国際交流奨励賞 (21世紀記念個人冠賞 (倉田賞、井関賞、倉田学生賞)) ・第46回日本セラミックス協会学術写真賞 ・2022年会優秀ポスター発表賞 ・第7回日本セラミックス協会フェロー表彰

<会議開催計画>

1) 理事会 5回 (5月、6月、7月、11月、2022年3月)

2) 委員会(開催数)

経営諮問会議	1	教育委員会	3
経営審議会	2	セプロ小委員会	2
運営委員会	3	男女共同参画委員会	3
科学・技術委員会	2	役員候補者推薦委員会	1
国際交流委員会	1	日本セラミックス大賞選考委員会	1
行事企画委員会	4	日本セラミックス大賞候補者推薦委員会	2
年会小委員会	4	功績大賞選考委員会	1
秋季シンポジウム小委員会	4	功績大賞候補者推薦委員会	1
編成会議	1	功労賞選考委員会	1
学術写真賞選考委員会	1	学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞選考委員会	2
論文誌編集委員会	12	セラミックス貢献賞選考委員会	1
優秀論文賞選考委員会	1	国際交流奨励賞選考委員会	1
協会誌編集委員会	9	協会活動有功賞選考委員会	1
出版委員会	5	フェロー表彰選考委員会	1
戦略WG、啓発WG、電子化WG	各5	アドバイザーボードミーティング	1
広報委員会	2	産学連携検討委員会	2
標準化委員会	2		
化学分析小委員会	3		